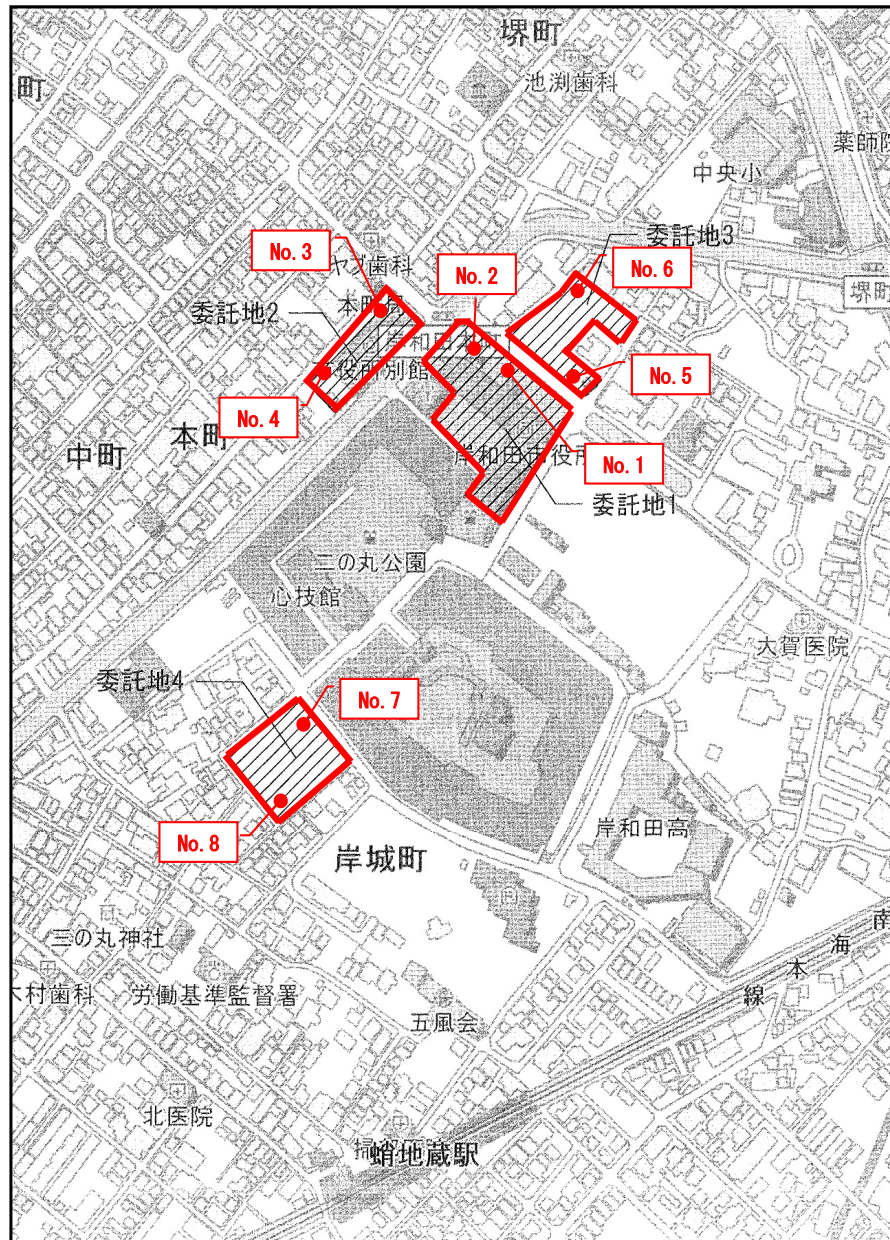


○調査位置図



○液状化判定結果

「液状化程度の予測：小～中、液状化の危険度判定：高い」は、詳細調査を行った上で、液状化対策の有無を検討することが望まれる。

委託地	孔番 No	判定方法	設計用水水平加速度		
			150gal	200gal	350gal
1	No1	液状化程度の予測	軽微	小	中
		液状化の危険度判定	低い	低い	高い
	No2	液状化程度の予測	なし	小	小
		液状化の危険度判定	かなり低い	低い	高い
2	No3	液状化程度の予測	なし	なし	なし
		液状化の危険度判定	かなり低い	かなり低い	かなり低い
	No4	液状化程度の予測	なし	なし	軽微
		液状化の危険度判定	かなり低い	かなり低い	低い
3	No5	液状化程度の予測	なし	軽微	小
		液状化の危険度判定	かなり低い	低い	高い
	No6	液状化程度の予測	なし	なし	軽微
		液状化の危険度判定	かなり低い	かなり低い	低い
4	No7	液状化程度の予測	なし	なし	軽微
		液状化の危険度判定	かなり低い	かなり低い	低い
	No8	液状化程度の予測	なし	なし	軽微
		液状化の危険度判定	かなり低い	かなり低い	低い

○文献資料による液状化履歴について

調査地は洪積層で構成されるため、これまでの文献資料からは、液状化履歴のない地域に区分されている。

参考資料・・・「建築基礎構造設計のための地盤評価Q & A」(2015) 日本建築学会より引用

・ 洪積層はこれまで液状化の発生が確認されていないこと、室内土質試験の結果から沖積砂と比べて明らかに液状化強度が大きいこと、建築・土木の基準・指針でも沖積層だけを液状化対象としていることなどから、洪積層であることが明らかな場合は、液状化対象層から除外してよさそうである。